

天ぷら油大火の傷細胞が甦る！蘇生技術

空気や水道水で洗った食べ物は腐敗病が増加。ワクチンを打っても人が死にコロナで15000人が死に。食と水の予防医学基礎開発30年基礎開発行い。天ぷら油200℃の大火傷再生は、植物の模範抗体技術を採用。36兆個細胞には5種類金属含有〈蘇る水〉蘇生電子が放射細胞の基底層〈陰〉×〈陽〉×=金属活性により高速回転で細胞がアメーバの様に基底層から『表皮・真皮・基底層・バリヤゾーン・皮下組織』細胞の増殖を繰り返し傷ついて壊れた細胞がわずか14日間で映像甦りました。〈蘇る水〉電子が放射されコロナイオンベンゼン核構造を電子で粉々にして分解して無毒化理論発明は「例」蚊・蜂等虫に刺されても皮膚のかゆみは瞬間分解消滅。全ての異変株も対応可能。平成19年から水を蘇らせるセラを販売〈蘇る水〉暮らしは、10万名様風邪を引かず医療費3800億円医療費削減しました。

